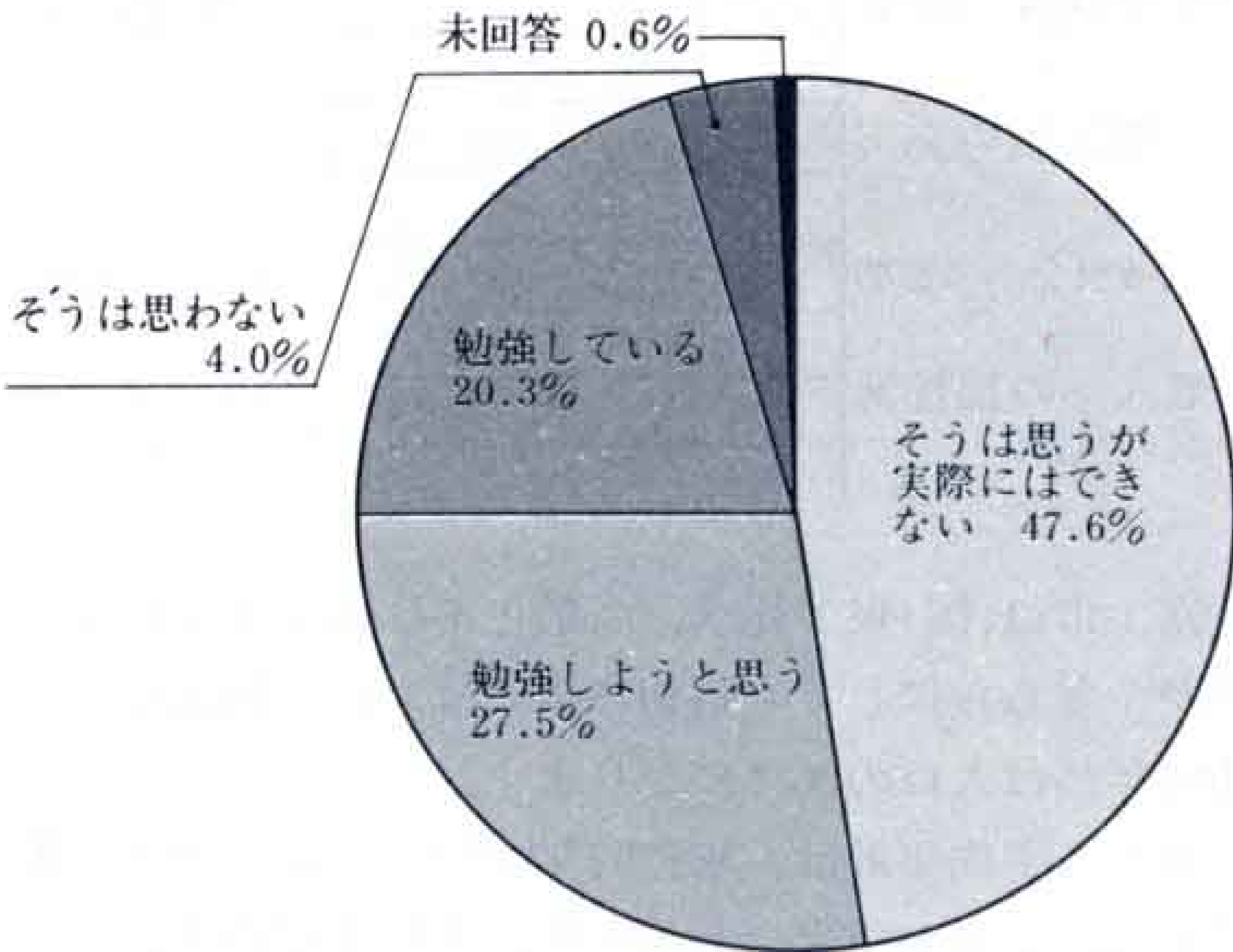
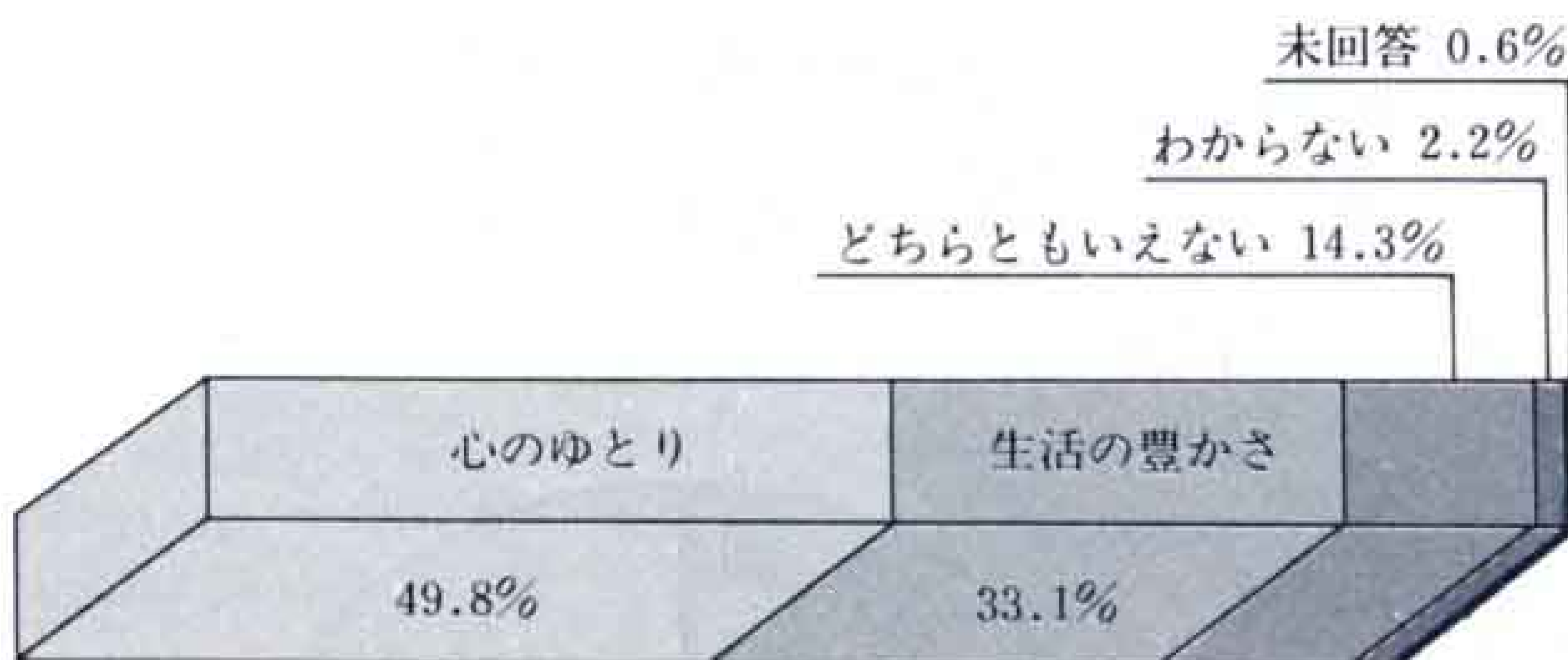


質問8 一生涯勉強することが必要であるとよく言われますが、あなたの現実の生活を通して、このことを実感としてどう思いますか。



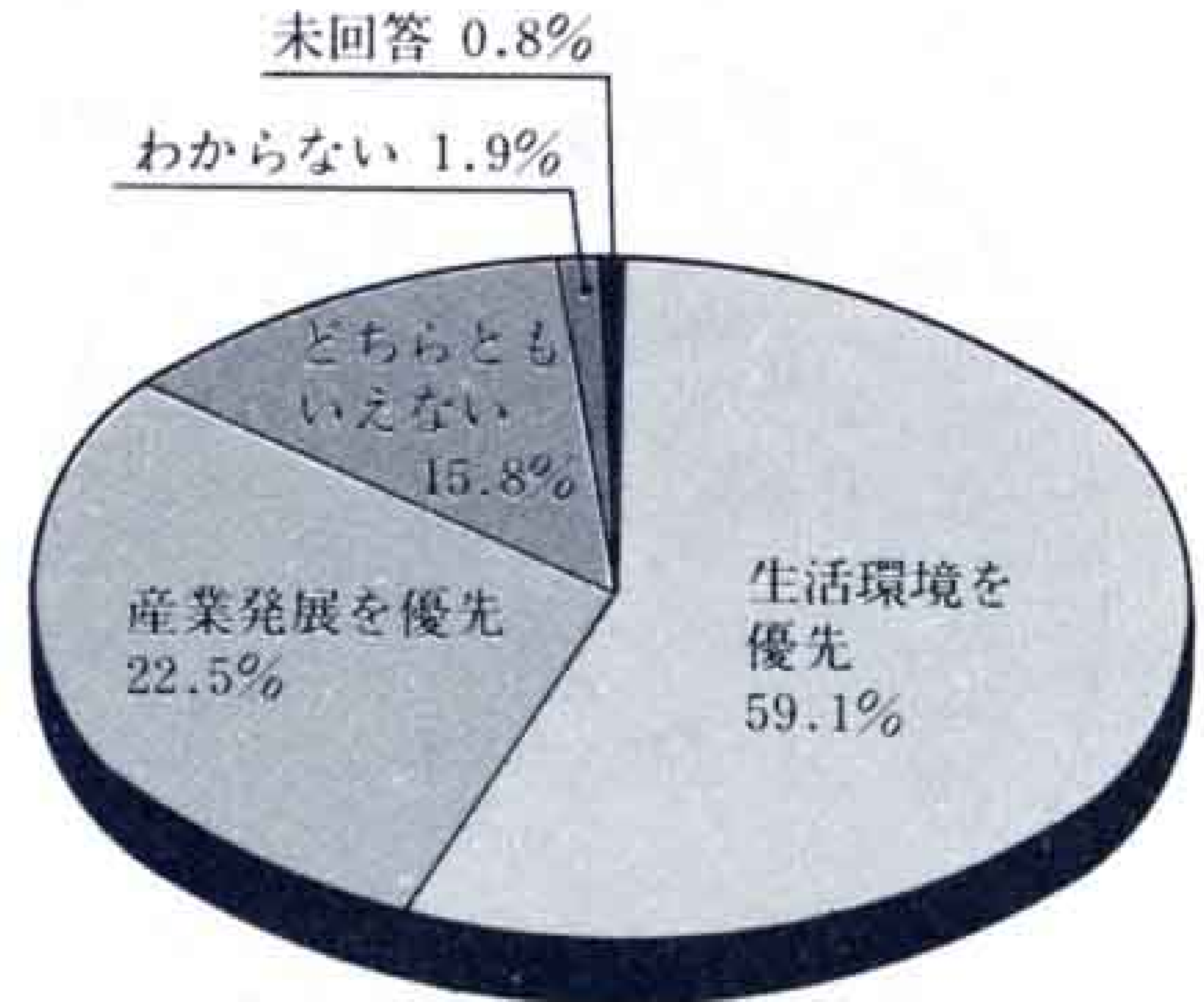
勉強している、しようと思っているという意欲的な職業別グループは、事務、技術職 (64.3%)、専門管理職 (63.8%)、商工経営 (59.6%) の順になります。逆に低いのは労務、技能職 (39.4%)、主婦 (42.9%) という結果でした。

質問9 これからの生活の仕方について、あなたの考えはどちらに近いですか。



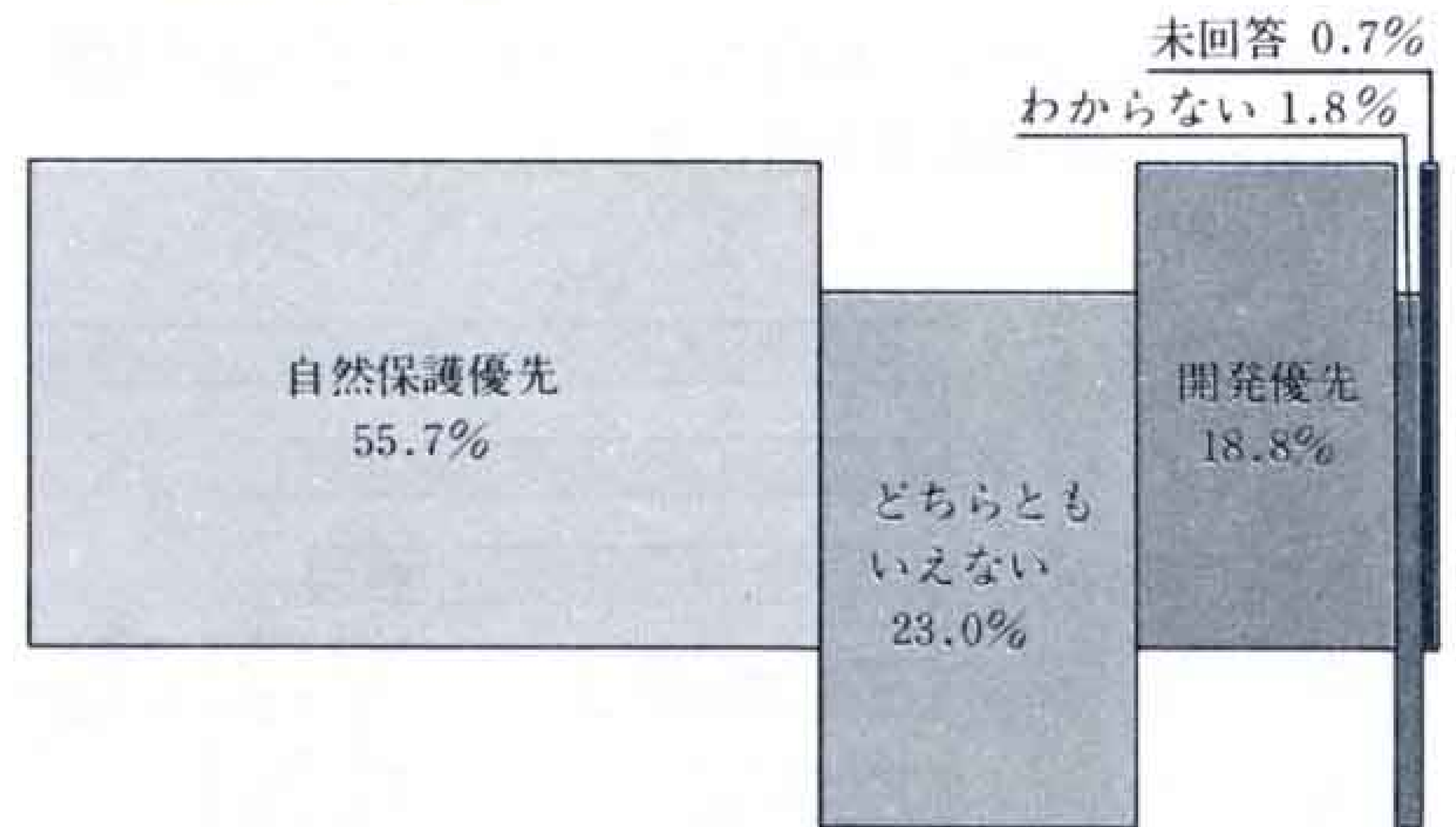
女性は、男性に比べゆとりある生活を望んでいる。また、男性でも60歳以上という退職した後と思うが、その時になると、ゆとりある生活に急激にかたむいていくようです (69.0%)。

質問10 これからの富士市では「商工業、農林業等を発展させる市政」と「公園、下水道施設等の生活環境整備を中心にした市政」のどちらを優先すべきだと思いますか。



男女別にみて、生活重視の方は男女年代別でもほとんど変わらないが、産業重視は男性の方が多い。しかしその差はわずかでした。

質問11 これからの富士市では「野鳥や自然の残る環境維持、いわゆる自然保護」と「道路、宅地、工場をつくったりする、いわゆる開発」のどちらを優先すべきだと思いますか。



全般的には自然保護は、数の上では開発より高い率を示しましたが、圧倒的というほどではなく、感覚的には自然保護ばかりでなく開発もという感じでした。地区別では自然保護が60%以上を締めたのは、大淵、

生垣がきを作るには、①芽が出る力が強く刈り込みに耐える。②枝葉が密で下枝が枯れ上がらない。③発育がよく、病虫害の被害が少ない。④移植が容易なこと。⑤手入れが簡単なこと。⑥外観が美しいこと等の条件があげられます。以上のことを満たして、さらに用途と樹木の環境条件を考えながら種類を選べばよいと思います。

例えば、半円球に刈り込むものなら、ドウダンツツジ、ジンチョウゲ、クチナシ、トベラ、イヌツゲ等。高さを一・五メートル以上にして道路との境界にしたい場合は、イヌツゲ、アオキ、サカキ、サザンカ、サンゴジュ、マキ等があります。

現在市は、緑豊かな住みよいまちづくり事業の一環として「生けがき作り補助金制度」を設け生けがきを作る人に補助金を出しています。(市みどりの課)

(おたずねします)
私は、やっと念願がかないマイホームを手に入れることができました。そこで、敷地の境界として地震に強く防風、防火、防音の働きをもつといわれる「生けがき」を作りたいのですが、生けがきに適する樹木等について教えてください。(一市民)

(おこたえます)
生けがきを作るには、①芽が出る力が強く刈り込みに耐える。②枝葉が密で下枝が枯れ上がらない。③発育がよく、病虫害の被害が少ない。④移植が容易なこと。⑤手入れが簡単なこと。⑥外観が美しいこと等の条件があげられます。以上のことを満たして、さらに用途と樹木の環境条件を考えながら種類を選べばよいと思います。

生垣を作りたいたいのですが

